



講演

「悲しみと共に生きる
～震災で母を亡くして～」

ジャーナリスト

佐藤慧



Photo by Kei Sato

二〇一一年三月十一日、
東北地方を襲った大津波は、
最愛の母の命を奪った。

瓦礫に埋め尽くされた街、
行き場のない怒り、
悲しみ、
絶望。

その痛みと引き換えに
母が残してくれたもの。
痛みは慈しみの種子だということ。

2014年1月11日 [土]

13時半～15時半 (開場 13時)

南相馬市原町保健センター

(福島県南相馬市原町区小川町 322-1)

*会場には佐藤さんが撮影した写真も展示します

参加無料

定員 100人 (要事前申込。当日参加も可)

※託児をご希望の方は、事前にご連絡ください。

佐藤慧 写真展

「悲しみと共に生きる ～震災で母を亡くして～」

2014年1月6日 [月]～10日 [金] 10:00～18:00

福島学院大学 福島駅前キャンパス

(福島市本町 2-10 ※福島駅より徒歩7分)

6日 [月] 13時～、佐藤さんを迎えてギャラリートークを実施します。

東日本大震災で、母を亡くした岩手県出身のフォトジャーナリスト・佐藤慧さんが、大切な人を奪われた悲しみ、そこから生まれてくる「生」への思いについて語ります。会場には、佐藤さんが撮影した写真も展示します。

佐藤 慧（さとう・けい）



studio AFTERMODE 所属ジャーナリスト。1982 年岩手県盛岡市生まれ。2007 年からアメリカの NGO で研修を受け、南部アフリカ、中米などで地域開発を担当。その後、ジャーナリストとしてアフリカ各地を回りながら、写真と文章を駆使し、人間の可能性、命の価値を伝え続けている。東日本大震災では、陸前高田市で行方不明になった母を探す傍ら、震災直後から現地の取材や緊急支援を開始。現在も、地域の住民活動の後方支援などを行っている。共著に『ファインダー越しの 3.11』。

会場案内

・電車・バス

JR 常磐線原ノ町駅から徒歩 20 分

※東日本大震災の影響で、常磐線には運休区間がありますが、各地方から直通バス、代行バスなどが出ているのでご利用ください。

・車

福島駅から約 1 時間半（会場に駐車場あり）



大切な人を亡くした方のためのわかちあいの会のご案内

南相馬市などでは、大切な人を亡くした方が集い、互いを尊重しながらありのままの思いを語り合う「わかちあいの会」を開催しています。ずっと心に「ふた」をしてきた悲しみや、一人になった時にふと浮かぶ不安、孤独…。一人で抱えず、お話ししてみませんか。

今年度は下記の日時で開催します。

南相馬	2月1日 <input type="checkbox"/> 土	・3月2日 <input type="checkbox"/> 日	会場：南相馬市原町保健センター
福島	1月12日 <input type="checkbox"/> 日	・3月1日 <input type="checkbox"/> 土	会場：福島市保健福祉センター（予定）
郡山	1月18日 <input type="checkbox"/> 土	・3月15日 <input type="checkbox"/> 土	会場：郡山市総合福祉センター（予定）
会津若松	1月19日 <input type="checkbox"/> 日	・3月16日 <input type="checkbox"/> 日	会場：会津稽古堂（予定）

主催・参加申し込み・問い合わせ先

南相馬市

TEL 0244-23-3680 / FAX 0244-23-4525（健康づくり課）

E-mail : kenkodukuri@city.minamisoma.lg.jp

※お名前・ご連絡先・ご所属（ある方のみで結構です）を添えてお申し込みください。

共催 グリーフサポートリンク、福島れんげの会、ライフリンク